

平成29年 第2回

小林市教育委員会

定例会

会 議 録

平成29年2月16日(木)

平成29年 第2回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 平成29年2月16日(木) 午後4時30分～
- 2 場所 小林市文化会館 2階 会議室
- 3 出席委員 槇健一郎 大部菌智子 山中悦郎 中屋敷史生
- 4 参与職員 山下康代 上別府優 深田利広 大山和彦
(調整職員) 野口健史

5 議事

(報告)

報告第6号 小林市第2次総合計画について(2月臨時議会)

(議案)

議案第4号 小林市キャリア教育支援センター設置要綱の制定について

議案第5号 平成29年第2回市議会定例会(3月議会)の議決を経るべき議案の原案の決定について

6 会議内容

開会 16:32

槇委員長 こんにちは。ただいまより平成29年2月8日付小林市教育委員会告示第2号で招集されました平成29年第2回小林市教育委員会定例会を開催いたします。さっそく、議事に入りたいと思います。

報告第6号、小林市第2次総合計画についてお願いいたします。

山下教育部長 それでは、報告第6号、小林市第2次総合計画について報告いたします。平成29年度第1回小林市議会臨時議会提出議案(2月議会)という資料をごらんください。2月14、15日の2日間ですが、臨時議会が開かれまして、第2次総合計画の基本構想、基本計画についての審議がなされました。これにつきましては、大部菌委員が審議会委員として、昨年6月9日に第1回がありまして、今年1月30日が第7回ということで、長期にわたって参加していただきました。

議案につきましては、昨日議決されまして、第2次総合計画が決定しました。

2日間の審議の中で、まなび分野についても質問はありましたが、例えば、学校教育課の中で申し上げますと、この基本計画のまなび分野にきずなファ

イルという文言を入れてほしいという意見がありました。きずなファイルにつきましては、特別支援教育の推進と充実という中で入ってくると思うんですけども、個別の計画を今から策定していきますので、その計画で、きずなファイルについては出てくると答えております。

それから、事業の説明をというところで、チーム学校とかキャリアプランニングとかの説明をしたところです。

それから、社会教育につきましては、KSSVCの登録者数ということで載っているんですけども、目標が71人から280人になっているが可能なかというような質問がありました。余りにも高くなり過ぎじゃないかという質問だったんですけども、平成27年度の実際のボランティア数は1,223人であり、自分の校区外のボランティアができる、したいという数を挙げておりますので、33年度の280人は可能ではないかということで答弁しております。

それから、子ども教育推進事業については、長岡市教育委員会の中に子育て支援課のような部門があり、そこで子ども教室とか、それから児童センターとかの連携がとれていたという意見がありました。そういう組織機構については、市長部局との横断的な取組みとして、すでに子育て支援課と十分に協議を進めて現在一緒にやっておりますと、答弁いたしております。それから、地域の連携強化、学校等を巻き込んだ継承活動ということで、巻き込んだという言葉はイメージ的にどうかというような質問がありました。これにつきましては、東方和太鼓とかは以前から小中学校と地域が一緒になって継承しているんですけども、これは小学校と地域が、巻き込んだというか一緒に取り組んだ形でやっておりますので、そのニュアンスで表現したということで答えております。

それから、スポーツ振興課については、地産地消率について、もっと上げるべきではないかということで質問が出ました。これについてはスポーツ振興課長のほうから1%上げるのにどのぐらいの量が必要であるかというようなことで説明をしております。

それから、部活動につきましては少子化に伴って競技種目の存続ができなくなりつつあるというような質問がありました。これについては、今後、

検討協議会を立ち上げていくということを教育長が答弁いたしました。

それから、20代から40代の若い人たちのスポーツの実態調査をしているのかということで質問がありました。スポーツ推進計画を作成するに当たってアンケートは実施したんですけども、20代、40代については結果が出ていませんので、今後検討していかないといけないと考えております。

それから、2学期制になって部活ができなくなったとか、宿題が多くなって勉強する時間が長くなって、なかなか9時までに終わらせることができないとかというような意見がありました。2学期制になったから部活ができないとか、宿題が多くなったとかという声は、教育委員会事務局には届いていませんが、今後はそういった声を捉えていきたいということで答えております。

それから、食育実践推進事業を今も進めているんですけども、事業を進めていくという文言の中で、“今後も”進めていくというような文言にするべきではないかという意見がありましたけれども、全て総合計画の中では、事業については「事業を進めていく」というような表現をしておりますので、教育委員会も事業を進めていくということで統一しておりますと答弁しております。

今回出された意見については、これから個別計画、事業計画をつくっていきますので、反映をしていきたいと思っております。

総合計画についての報告は以上になります。

楨委員長

ありがとうございます。

何かご質問ないですか。よろしいですか。

野口

すみません。補足です。

会議資料に図式化したものをつけております。

今回、第2次総合計画が策定されましたので、今度は平成29年度から33年度までの教育の大綱が策定される予定になっております。

策定するのは市長なんですけども、教育委員会事務局としましては、この基本計画の“まなび”の部分をもって充てていきたいと思っております。

今後、総合教育会議が開かれると思っておりますが、このように思っております。

それから、「小林市教育基本方針並びに教育施策」、それから「0歳から100歳までの教育プラン」、「小林市の教育」というのを、平成29年度分をつくりませんが、これについても今度の第2次小林市総合計画を基本につくっていきたいと思っております。以上になります。

槇委員長 はい、よろしいですか。どうぞ。

中屋敷教育長 臨時議会の中で感じたことなんですけども、これまでは公助・共助・自助という、つまり行政が、まずは何かをまちづくりでやっていく、やるという流れがずっと続いてきたんだと思うんですね。ところが全国的にもその時代は過ぎて、みんなでやらないと自治体が活性化できないというところで地方創生という言葉が出たわけです。そうなってくると、やっぱりまちづくり協議会というのがあって、自助・共助があって、そして最後に公助で何か足りないものを補っていくという逆の形を考えなければ、財政的にも余裕があるわけではないので、これからはなかなかやっていけないと感じました。

槇委員長 ありがとうございます。

何かないですか、ご質問。(なし)

ありがとうございました。

槇委員長 続きまして、議案に入りたいと思います。

議案第4号、小林市キャリア教育支援センター設置要綱の制定についてお願いいたします。どうぞ。

山下教育部長 それでは、議案第4号、小林市キャリア教育支援センター設置要綱の制定について、教育委員会の承認を求めるものでございます。

これにつきましては、後ほど予算のほうで出てきますが、新規事業の実施に合わせて制定するものです。

第1条については、設置、小林市キャリア教育支援センターを設置するというので、定義につきましては、「『キャリア教育』とは、児童生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育をいう」となります。名称、位置なんですけれども第3条にあります。名称は、小林市キャリア教育支援センター。

位置につきましては、小林市細野1899番地3です。これは小林商工会

議所内になります。商工会議所の中に設置する予定です。

それから、業務内容です。第4条です。支援センターは、産業界等及び市長部局と連携をして、次に掲げる業務を行います。

- 1 児童生徒に対する職場体験学習及び出前授業の実施に関すること。
- 2 職業体験型施設の設置及び運営に関すること。
- 3 教職員へのキャリア教育に係る情報提供に関すること。
- 4 産業界等へのキャリア教育に係る啓発に関すること。
- 5 その他キャリア教育の推進に関し必要な事項ということになっております。

それから、業務の委託、第5条です。センターの業務は、小林商工会議所に委託して行うものとする。

第6条です。キャリア教育コーディネーターの配置ということで、「支援センターに、支援センターの業務の企画、調整及び実施をするキャリア教育コーディネーターを置く」ということで、29年4月1日から施行するというので、設置をしたいと思っております。

設置要綱については以上になります。

榎委員長 ありがとうございます。

何かご質問ないですか。

どうぞ。

大部 菌職務代理 第4条の(2)に「職業体験型施設の設置及び運営に関すること」とあるんですが、これはどのようなものなんでしょうか。

榎委員長 どうぞ。

大山 指導監 具体的には、市内、市外のいろんな産業界の方々に集まっていただくブースを設けまして、それぞれのブースを子どもたちが回っているような職業を体験できるようなものであります。実際に東京や兵庫にはキッザニアというものがありまして、企業側が全て持ち込んで実際に同じ仕事を体験することができるというような、小さなまちをつかって体験させるようなものです。なかなか常設というわけにはいきませんので、今のところのイメージとしては年に1回か2回ぐらいそういうものができればいいなというふうに考えています。

榎委員長 何か質問ないですか。
すみません、私からいいですか、第6条のキャリア教育コーディネーターというのは何人ぐらい配置されるんですか。

大山指導監 お一人を任用しようと思っております。

榎委員長 何かご質問ないですか。
どうぞ。

大部菌職務代理 子どもたちに、キャリア教育のカウンセラーというか、個々の子どもの相談に乗るような、自分の職業感とかですね、そういう資格を持った方が1対1で、そのカウンセリングの人と対応するようなのは入っていないんでしょうか。

榎委員長 どうぞ。

大山指導監 多分、そこまでの業務は厳しいのかなというふうに思っております。主として企業開拓であったりとか。学校ではキャリア教育は割と浸透しているんですけども、企業側というのは全く教育に関してはわからないところがありますので、どちらかという軸足は、企業の理解を得て学校に協力してもらう、協賛していただく企業を探すというところになってくると思います。今おっしゃったような話は、例えば中学校あたりであれば、学級担任の先生が進路指導とかいう中でやっています。県立学校では、エリアは広いんですけど、この南部地区にお一人はそういう方が配置されていて、相談に乗っていただいている状況はあります。

大部菌職務代理 今、高校生ぐらいだとそういう指導もあると聞くんですけど、もうちょっと早い段階でそういったことができたらいいなという希望があります。

榎委員長 はい、どうぞ。

大山指導監 そういったニーズに個別に応えられるかはわかりませんが、いろんな業種の企業の方を学校にお呼びして、例えばパネルディスカッションをしたりとかグループ討議をしたりとかするようなものを、教育課程の中に位置づけるという方向で検討しています。ですから、そのときに子どもたちはいろんな職業の方、業種は違っても職業感であるとか働くことの意味とかを伝えてもらうような機会を意図的に仕組んでいこうと思っております。

大部 菌職務代理 わかりました。

楨委員長 どうぞ。

中屋敷教育長 よろしいですか。

今、キャリア教育というのを学校でやっているんですけども、十分かといったらちょっと疑問があるんですね。例えば、小林市に10の事業所があるのに、学校の先生とか子どもたちが3しか知らなかった場合には小林以外に就職するしかないわけです。ところがこのコーディネーターが、事業所とかを全部を学校に情報として10ありますよということを伝えると、選択肢が増えるわけですね。そういう調整というかマッチングさせてくれるような方を今度配置したら活性化するかなという期待があります。

それと、もう一つは、この前、東方小学校に行ったら、ユーチューバーという職業名がでました。これから、何年後かには現在の職業の半分がなくなるというのが話題になっていますけども、また新しいものも出てくるわけですね。そういうものがどういうものにつながっているのかというのは産業界の方が詳しいと思うんですね。またバリエーションができて職業選択という意味では、早い段階から体験も含めながら、生き方も聞きながら検討できるのではないかなということで、これは、今回非常に力を入れて立ち上げたいなという事業の1つであります。

楨委員長 何かご質問ないですか。よろしいですか。(なし)

このキャリア教育は重要だと思いますので、ぜひ、どんどん進めていていただきたいと思います。

中屋敷教育長 ありがとうございます。

楨委員長 次にまいりたいと思います。

議案第5号、平成29年第2回市議会定例会の議決を経るべき議案の原案の決定についてお願いいたします。

どうぞ。

山下教育部長 それでは、議案第5号、平成29年第2回市議会定例会（3月議会）の議決を経るべき議案の原案の決定について、今から説明をさせていただきますが、2月27日が開会になります。3月議会の上程前ですので資料の取り扱いについてはご留意いただきたいと思っております。

それでは、それぞれの課の課長より説明をさせていただきます。

まず学校教育課から説明させていただきます。

まず、28年度の補正予算になります。予算要求額の真ん中の欄のところを見ていただくと三角印があると思いますが、これはマイナスの意味で、不用額になります。年度末までの執行見込みを精査したところ、この不用額になりましたので、今回、全て減額する予算になります。増額の3月補正は学校教育課にはありません。

続きまして、平成29年度の当初予算になります。

管理費や義務費は経常的なものですので、施策費について、いくつか主なものをご説明いたします。まず、「次世代の学びを創造する」小林ICTプロジェクト事業費（地方創生）です。この事業自体は昨年もあったんですけども、ICTの活用に関するものになります。今年はタブレットを活用した事業の研究モデル校として、先ほど研究発表をしていただきましたが、東方小学校、東方中学校のソフトウェアリースやタブレットの購入をしたいと思っております、昨年度からの新しい取り組みになります。

それから、外国語教育推進事業費については、これまでもALTの配置については同じ予算規模でやっておりましたが、今まで随意契約でやっておりましたので、平成29年度からプロポーザルを実施して業者選定を行いました。その結果、新しい会社と委託契約をすることになりました。今までは3名のALTを配置していたんですが、同規模の委託金額で4名の配置をしていただけることになりましたので、成果に期待をしているところであります。

それから、小林の未来を担うキャリア教育推進事業費（地方創生）、これは、先ほど、要綱をご承認いただきました部分の予算になります。これにつきましてはキャリア教育支援センターの運営委託業務209万9,000円を、商工会議所に委託する業務になります。それから、講演会講師謝礼ということで、初めての事業になりますので、1度、キャリア教育の講演会をしたいと思っております。それから、キャリア教育推進モデル校を2校、小学校、中学校でモデル校を指定したいということで、10万円ずつの20万ということで予算を計上しております。

それから、西諸地区いじめ問題対策専門家委員会特別会計があります。

これについては小林市、えびの市、高原町からの負担金をいただきまして、小林市が事務局となり実施している事業になります。年2回会議を開いております。専門家、大学の先生たちに来ていただきまして、講習、それから委員会の費用弁償ということで旅費等を計上しております。

財源は2市1町の構成団体の負担金で運営をいたしております。

学校教育課のほうは以上になります。

榎委員長 お願いします。

上別府社会教育課長 続きまして社会教育課でございます。

まず、3月補正でございます。成人式の記念品代が22万4,000円の減額でございます。成人式につきましては、実行委員会で記念品をどうするか検討したところ、今回で3回目なんですけど、もう記念品は要らないんじゃないかということで、その分の費用をSOWAさんのコンサートに回すということで処理したところでございます。実際にはコンサートの費用はここまでかからなかったものですから、残った分を今回補正で減額するという事になったものでございます。

それから、その下の生涯学習通信の印刷代の減額ですけど、生涯学習通信を年1回発行しているんですけど、これを外注せず自分たちで印刷して対応したところでございます。それで不用になった額でございます。

それから、小林秀峰高校の機械部全国大会出場負担金でございます。こちらについては費用の7割を補助するという事で、増額です。ほかは全部減額しますので相殺すると、36万9,000円の減額になります。

それから、文化会館基金の積立利子の追加でございますけど、利子が1万4,344円ということで、この分を基金に積立てということで、約2,390万円の基金、現在の積立額でございます。文化会館の基金につきましては、毎年ちよつとずつ積み立てていたんですけど、文化会館だけではなくて、市の施設全体がもう老朽化ということで、そちらの市全体の施設を維持するための基金が別途ありますので、そちらのほうに今は基金は積み立てられています。この2,300万円はそのまま残った形で、利子だけが若干増えているということでございます。文化会館は、もう20年以

上経っていますので、大きな修繕が突発的に出たときのために、この基金は取り崩さずにとっているということでございます。

続きまして、29年度の当初予算で、社会教育課は、まず、文化財保存活用事業（臨時）でございます。これにつきましては、二原遺跡公園の遺構の露出展示をしています、ひび割れが本当にひどくなりましたので調査をして、修復保存をしていくとかのための調査費用を計上しております。

それから二原遺跡公園のトイレが和式ですので、これを洋式化するための予算でございます。それから温湿度計とかも全部二原遺跡関係です。

あと、市内文化財案内板設置ということで80万円要求しております。

これが西郷（せご）どんの位置ということで、来年度NHKの大河ドラマで西郷どんが取り上げられますけど、それに向けて、西郷軍が西南戦争に敗れて人吉から小林に入って宮崎に抜けて延岡まで行って、西米良を通過して小林に入ってきたということで、小林2回通っているわけですけど、そのルートのことを市民が知らないというのがあります。大河ドラマで取り上げられると観光客が来ますので、それに向けた案内板を4カ所設置するものでございます。4カ所の場所としましては、一泊した通り町の時任宅の前に1カ所。それから須木夏木の川添宅の前に1カ所、それとえびのを通過して小林に入ってきたところの入り口に1カ所、野尻から宮崎に抜ける境のところに1カ所というようなところで、4カ所ほど設置したいというふうに考えております。

もう一つ、生涯学習講座講師登録人材バンク一覧表というのがありますけど、これは生涯学習の講師を務めていただける人を人材バンクとして登録して冊子にしようとするものでございます。これを小林だけではなくて西諸全体でやろうということで、えびの市と高原町と合わせて3,000部ということで、内訳としては小林が1,500部、えびのが1,000部、高原が500部ということで、リストをつくらうということで計画しております。

最後が図書館でございます。図書館の費用は図書の資料整理作業の委託が2名ということで上がっております。4年ぐらい前からずっと1名体制で整理してきたんですけど、平成30年度が図書館の開館110周年という

ことになりますので、今閉架している部分を来年度2名体制で整理して、平成30年度には開架するための作業に必要な人件費でございます。それから、トイレが図書館には1階、2階で7カ所ありますが、その洋式化のための予算でございます。社会教育課は以上です。

槇委員長 どうぞ。

深田スポーツ振興課長 スポーツ振興課です。

まず3月補正について説明いたします。今回は小林秀峰高等学校新体操部と小林高等学校駅伝部が全国大会へ出場いたしました。そのときの市町村の負担金です。負担金審議会があるんですけど、そちらで決定になった額を計上いたしております。2件で27万4,000円の増額の補正を行いたいと考えております。

次に、スポーツ振興課の29年度の当初予算でございます。まず、市民スポーツ祭事業費（臨時）でございます。こちらにつきましては、昨年度、50回記念の運動会を計画いたしましたが雨天のため中止になりました。平成29年度、改めて50回記念を迎えるための経費を計上いたしております。

続きまして、小林学校給食センター管理事業費（臨時）でございます。当センターは築21年を迎えまして機器等の老朽化が進んでいる状況でございます。今後、年次的に機器等の更新等を行っていく必要があると考えております。平成29年度におきましては洗浄室床張りかえの修繕とシステム食洗機の更新を計画いたしております。合計で2,225万4,000円を今回計上したところでございます。

続きまして、野尻学校給食センター管理事業費（臨時）でございます。この野尻学校給食センターにつきましては、工場であったところを旧野尻町が買い上げまして給食センターに改修して現在運用を行っております。この建物自体が工場時代から築30年ということで結構古くなっています。それに伴いまして大雨とかの折に結構雨漏り等がひどい状況があります。安心・安全な給食提供を行う上ではどうしてもそのようなことがあってはならないということで、今回修繕料を計上したところでございます。主な内訳といたしましては、屋根改修壁目地サッシ廻りシーリング工事という

ことで1,630万8,000円を計上いたしております。

続きまして、最後になります。平成28年度から始まりました、てなんど小林学校給食応援事業費でございます。保護者の負担軽減を目的に給食費の半額助成を行っております。29年度におきましても引き続き給食費の半額補助を行いたいということで、今回予算を要求いたしました。要求額のほうが9,096万8,000円となっております。

スポーツ振興課は以上でございます。よろしく申し上げます。

榎委員長 ありがとうございます。

次をお願いします。

山下教育部長 教育部須木分室の予算になります。これについては事務局管理費756万7,000円です。この中にはスクールバスの賃金等が含まれております。それから、最後、教育部野尻分室になります。ここにつきましては、小学校配分経費と中学校配分経費と幼稚園の運営管理事業費が入っております。それから、社会教育で、社会教育振興事業費があり、講座等をしていただいたときの講師謝礼金があります。

説明については以上になります。

榎委員長 ありがとうございます。

何かご質問ないでしょうか。

山中委員 よろしいですか。

榎委員長 はい。

山中委員 野尻給食センターの件なんですけど、修繕費が気になりますね。小林センターは中学校の給食を、東方センターは小林地区の小学校と須木の給食を賄えるということで、それぞれ余力というがありますよね。どちらも余力があると思うんですけど、それでは野尻の給食は賄えないのでしょうか。

深田スポーツ振興課長 おっしゃるとおり、その処理能力としては賄えるかもしれないですけど、調理を終えてから配送が間に合わないということが一番大きな課題だろうと思います。校長先生による検食の時間も決まっていますし、東方センターに全部集約したとして、須木にも行っていますし、西小林のほうも行ってますし、紙屋まで行くとなると、配送車を追加しても時間が相当かかると思われます。

山中委員 遠いですね。

深田スポーツ振興課長 はい。調理完了から配送して、検食が給食の30分前となっておりますので時間配分が難しいと考えています。

山中委員 ゆくゆくは建てかえということになると思うんですけど、今回はとりあえず修繕という形で進めていくということですね。

もう一つよろしいですか。須木の教育分室のスクールバスですね。これは2台出ていると思うんですけど、この業務というか、朝と夕方ですよ、これはパート的に雇用されているんでしょうか。以前は給食センターがあったものですから給食の配送とかもやっていたんですけど、それはもう東方センターがやってらっしゃるんですよ。

楨委員長 どうぞ。

山下教育部長 今、須木のスクールバスの運転士は臨時職員としての雇用になっています。朝が早いので、普通の臨時職員は8時半から5時15分なんですけども、スクールバスの運転士さんはもっと早くからの勤務になりますので、途中で休憩を挟んで対応しています。

山中委員 調整されているんですね。

山下教育部長 はい、調整しています。運転士さんにとってはちょっと間があくので大変だろうとは思いますが、臨時職員の対応で同じ時間数で勤務していただいております。

山中委員 わかりました。一応知っておかないと、と思ってお尋ねしました。

楨委員長 ほかにないですか、ご質疑は。
どうぞ。

大部菌職務代理 まず給食センターの改修の件ですが、屋根のシーリング工事というのは値段が1,600万円と相当かかりますよね。屋根全体をシーリング工事するんですか。

深田スポーツ振興課長 よろしいですか。

楨委員長 はい。

深田スポーツ振興課長 屋根を1回外してということではなくて、現在の屋根の上にもう一つ屋根をのせるような工法です。だから、工事中であっても給食等をつくれるということで、そのような工法を今回とらせていただきました。

大部 菌職務代理 それで高いんですね。

深田 スポーツ振興課長 はい。

大部 菌職務代理 ちょっと溝を埋めるような工事かなと思ったんです。

深田 スポーツ振興課長 今の屋根はいじらなくて、もう一つ屋根、二層の屋根みたいな感じと捉えていただければと思います。

大部 菌職務代理 それで高いんですね。

深田 スポーツ振興課長 はい。

大部 菌職務代理 わかりました。

あと、もう一点いいですか。高校の機械部の全国大会出場負担金、機械部はどのような部門で全国大会に出場されるんですか。

深田 スポーツ振興課長 ロボットコンテストです。

大部 菌職務代理 ロボコンですね、そうなんですか。

深田 スポーツ振興課長 成績はわかりませんか。

中屋敷 教育長 私も聞いていないですね。それこそグローバルキッズ事業で子どもたちに秀峰高校生がロボコンに取り組んでいるところを見させてあげたいですね。

大部 菌職務代理 いいですね。

中屋敷 教育長 刺激になります。

大部 菌職務代理 今まで出ていましたか、ロボコンに。

榎 委員長 出ていますよ。

大部 菌職務代理 秀峰高校ですか。

中屋敷 教育長 はい。

大部 菌職務代理 そうなんですか。

榎 委員長 車を走らせるサーキットとか、いっぱい出ています。

大部 菌職務代理 そうなんですね。

榎 委員長 ほかにないですか。(なし)

よろしいでしょうか。それではこの議案どおり決定してよろしいでしょうか。(はい。)

榎 委員長 ありがとうございます。

その他何かないでしょうか。

教育委員の方々の意見交換とか何かないでしょうか、ご意見は。(なし)

よろしいですか。

それでは、本日の平成29年第2回の小林市教育委員会定例会を終わりたいと思います。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 17:35

委員長

委員長職務代理者

委員

教育長

調整職員
